



にほんまつ

平成30年5月30日

No. 2



PTA作業お疲れ様でした。

5月26日土曜日、PTA作業が行われました。

暑い日でしたが、それぞれの分担に分かれて、どんどんお仕事を進めていただき、時間内に予定されていた全ての作業を行っていただきました。また、終わりの会の後も残って、分担以上のお仕事をしてくださる方々もいて、本当にありがたかったです。

作業が終わった後、校内を一周してみると、校舎内は明るく、外回りは整然としていました。子どもたちだけではなかなか行きとど

かない所まできれいにしていただき、大人の方々の力の大きさ・大勢の力の大きさを感じました。

整えられた環境の中で、子どもたちはまた力を発揮していくことができます。

中心になって進めてくださったPTA厚生部の方々、お休みの日に作業をしてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

しっかり学習し、思い出がいっぱいできた修学旅行!!

5月24日・25日(木・金)、6年生が、待ちに待っていた修学旅行がありました。心配していた天気も、暑いくらいの恵まれたお天気で、二日間の行程を楽しむことができました。

キビキビとした早め早めの行動で、どの見学場所でも余裕をもち予定以上の見学時間を確保して、十分な学習をすることができました。

二日間の修学旅行での6年生の素敵な姿はたくさんありますが、先の予定を確認し一人ひとりが自分で考えて行動できる姿です。この体験を生かし、これからも喬木第二小学校を引っ張り、最高学年としてののびのびを見せてくれることでしょう。



☆☆☆ 日課変更のお知らせ ☆☆☆

6月1日金曜日は、年間行事予定表では、6時間授業になっていましたが、職員研修(授業研究会)のため、5時間授業に変更します。下校は15時10分です。

ご承知置きいただき、ご協力をお願いいたします。

お知らせ

学校には子どもと保護者の皆様の『心の相談室』を常設しています。
保健室 渡邊(養護教諭)
職員室 奥原(教頭) が
相談窓口です。
何でもお気軽に声をかけて下さい。

学校に対し、ご意見・ご要望をお持ちの際は、いつでも気軽にお越しください。
校長・教頭で誠意を持ち、対応させていただきます。

5 / 16 校長講話より 「タンポポに学ぶ ～しっかりした根をつくろう～」

5月も中旬となり、1年生の皆さんも学校に慣れたことと思います。

朝、校門前で皆さんの渡る様子を見ていたら、横断歩道を渡った後、止まってくれた自動車にきちんとおじぎをして、お礼の挨拶をしている人が何人もいました。わたしは、「すごいな!」と思いました。止まってくれた自動車の運転手さんも、きっといい気持ちでお仕事に行っただしょうね。みなさんの「ありがとう」の気持ちを、相手に伝えるというのは、こういうことなんですね。すがすがしい気持ちで一杯になりました。

皆さんのお家や学校の花壇にも、色とりどりのお花がたくさん咲いています。

今日は少し難しい言葉を覚えましょう。まさに、今のこの季節を表した言葉、二つです。

一つは「春爛漫」…春になって、花が咲き、心が浮き浮きしてくる様子

もう一つは「百花繚乱」…たくさんのお花が、競い合うように咲き乱れる様子

どちらも同じような意味の言葉ですが、昔から春の季節を表すのにふさわしい言葉として大事にされてきた言葉です。漢字まで覚えられる人は覚えてみてください。

さて今日は、たくさん咲いている春の花の中の一つ、この花のことについてお話ししましょう。

何ていう花か知っていますか。そうです、「タンポポ」ですね。

春になるとたくさんのお花が咲いてうれしいのですが、春に咲く花の一つ、タンポポのことが気になります。冬には、雪が降りましたが、雪が消えた地面をよく見ると、緑色のタンポポの葉っぱがもう顔を見せているんです。



土も凍りつくような寒い冬を、タンポポはどうやって乗り越えているんでしょう。

「寒い冬を乗り越えるために、タンポポには秘密があるに違いない」、そう思って、家の周りでタンポポを探してみましたらありました。

この写真は、3月の終わり、まだ寒い頃のタンポポの写真です。

こんなふう地面にへばりつくように、葉っぱを丸く広げていました。「これは何か秘密があるに違いない」と思って、図書館で調べてみました。すると、この「フレーベル館 だいすきしぜんシリーズ『たんぽぽ』」に、ヒントがありました。(本を見せながら)



寒い冬には、タンポポは重ならないように葉を広げ、地面にへばりついていきます。これは、お日様の光を少しでも多く受け止めるためだそうです。この様子を「ロゼット」というそうです。この葉っぱの下の部分と、別の土の部分の温度を比べると、葉っぱの下は3度くらい高いんだそうですよ。春になり、暖かくなってくると、新しい葉が伸びてきます。真ん中にはつぼみも顔を出します。冬の間、土の中で少しずつ育っているのです。

でも、私は、あの寒い冬を乗り越える秘密はそれだけではないと思って、さらに調べてみました。みなさんも実際に根っこを掘ってみたことがあるでしょう。掘っても掘っても、なかなか根っこが全部出てきませんよね。

(最後のページ根っこを提示しながら)長いですね。タンポポは、土の中深く根っこを伸ばすことで、冬の寒さから身を守ろうとしていることもわかりました。冬の間、しっかりと根っこを張っているからこそ、春になってきれいな花を咲かせることができるんですね。

きょうは、タンポポの秘密についてお話ししました。

皆さんも、みんな一人一人、花のつぼみを持っていて、それをきれいに咲かせることが大切です。そのために、皆さんも、心の中に、タンポポのようにしっかりと根っこをつくっていくように頑張りましょう。けさの校長先生のお話は、これで終わりです。

